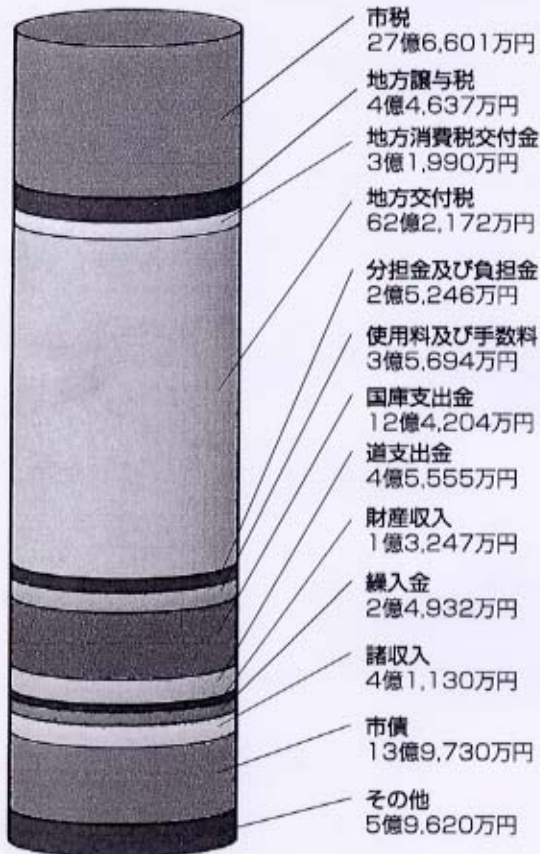


# 会計決算状況

歳入 148億4,758万円 **グラフ1**



**表2** 平成18年度末 市債現在高

会計名	金額
一般会計	280億4,961万円
公共下水道事業特別会計	104億9,157万円
港湾埋立事業特別会計	9億5,461万円
簡易水道事業特別会計	2億4,434万円
合計	397億4,013万円

# 平成18年度 市の決算状況

平成18年度の決算が、昨年12月の第4回市議会定例会で認定されましたので、その内容についてお知らせします。

☎ 財政課財政係 ☎ (24)2111 内線248番

**グラフ1** は、一般会計の歳入(収入)についての状況です。これら歳入は、市民の皆さんが負担する市税(市民税、固定資産税等)などによる自主財源と国や道からの補助金や市債などの依存財源に大別することができます。自主財源の占める割合が大きい自治体ほど財政基盤が安定しているといわれており、紋別市は31%で全国都市平均の55%を下回っています。

**グラフ2** は、同じく歳出(支出)を行政目的別に分類したもので、その性質によって義務的経費(人件費や扶助費、公債費など収入の状況に応じて任意に削減できない経費)と任意的経費に分類されます。歳出に占める義務的経費の比率が大きくなると、財政構造の硬直化を招くといわれています。

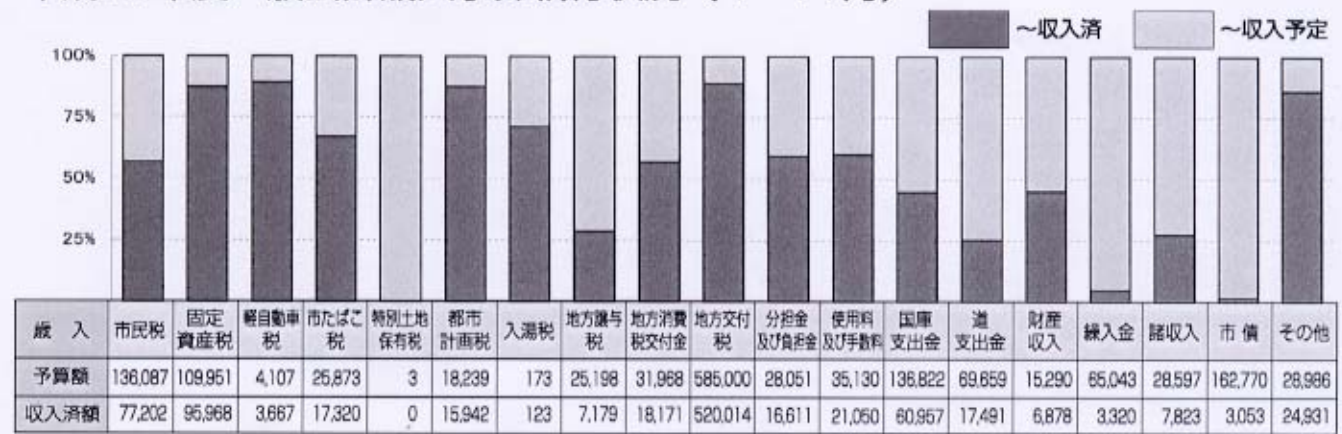
紋別市は48%で全国都市平均の49%をわずかに下回っています。歳入と歳出の差引額は、1億8千6百万円となり、平成19年度に繰り越しましたが、法律により定められた割合にあたる4千9百万円は財政調整基金(将来の財源不足に備える預金)へ積み立てました。

**表1** は、紋別市が設置している特別会計の決算です。特別会計とは、特定の事業を行う場合、特定の歳入をもって歳出に充て、一般会計と区別して経理する必要がある場合に法律や条例に基づき設置され、10会計が設置されています。

**表2** は、平成18年度末における、市債(家計における住宅ローンのような長期の借入金ですが、大きく違う点は、その元利償還金の一定割合が地方交付税によって国から補てんされるものもあることです)の残高です。市債は、道路や学校などの社会資本を整備する際の財源調達手段さらに長期にわたり返済していくことで世代間の公平な負担という2つの目的があり、国の厳格な管理の下に発行しています。これら市債の昨年度の元利償還金が、グラフ2の公債費です。財政健全化の指標の一つである実質公債費比率では、20%(全国平均16%)と健全度の目安である18%を越えています。

## 平成19年度一般会計歳入予算執行状況(4~11月)

(単位:万円)



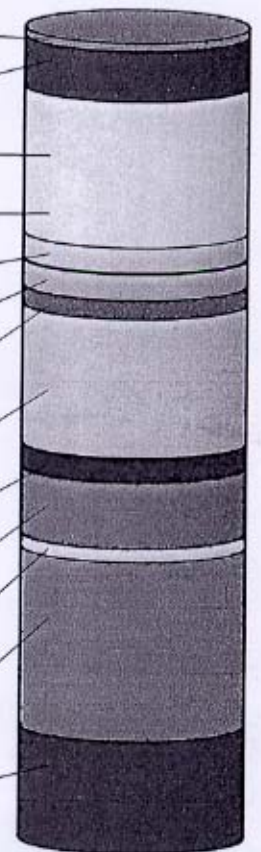
## 平成18年度一般会計の主な事業

<b>■総務費</b>	
・庁舎設備改修(アスベスト除去等)事業	5,836万円
・交流拡大推進事業	275万円
<b>■民生費</b>	
・高齢者等の通院等交通費助成事業	2,931万円
・高齢者在宅福祉サービス促進事業	843万円
・乳幼児等医療給付拡大事業	709万円
<b>■衛生費</b>	
・合併処理浄化槽設置推進事業	2,009万円
・埋立処分場汚水処理施設改修事業	6,008万円
<b>■労働費</b>	
・雇用開発及びUターン促進事業	475万円
<b>■農林水産業費</b>	
・オホーツクはまなす牛販路拡大事業	174万円
・森林整備地域活動支援対策事業	5,842万円
・地場製造業活性化支援事業	582万円
<b>■商工費</b>	
・中心市街地活性化事業	800万円
・商業環境整備促進事業補助金	299万円
・生活バス路線運行維持対策補助金	2,924万円
<b>■土木費</b>	
・北浜第1号線改良舗装事業	2,359万円
・紋別港改修事業	738万円
・紋別空港利用促進事業	1億80万円
・運動公園整備事業	1億490万円
・緑団地公営住宅建設事業	3億2,000万円
<b>■消防費</b>	
・消火栓整備事業負担金	170万円
<b>■教育費</b>	
・小向小学校改築事業	3億5,947万円
・市制50周年記念市史編纂事業	1,750万円
・スポーツ合宿誘致事業	422万円

# 平成18年度一般

歳出 146億6,143万円 **グラフ2**

議会費	1億5,481万円
総務費	9億526万円
民生費	26億4,419万円
衛生費	4億5,407万円
労働費	2,245万円
農林水産業費	4億7,506万円
商工費	3億3,852万円
土木費	25億1,194万円
消防費	4億3,700万円
教育費	11億8,858万円
災害復旧費	2億5,102万円
公債費	32億5,048万円
給与費	20億2,805万円



**表1** 平成18年度 特別会計決算状況

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	28億4,788万円	27億4,856万円	9,932万円
公共下水道事業	19億7,790万円	19億8,372万円	▲582万円
港湾埋立事業	4,956万円	1億2,324万円	▲7,368万円
簡易水道事業	5,305万円	5,305万円	
交通災害共済事業	435万円	257万円	178万円
土地取得事業	5,622万円	5,622万円	
老人保健事業	29億6,640万円	29億7,001万円	▲361万円
営農飲雑用水道事業	4,980万円	4,712万円	268万円
介護保険事業	11億3,297万円	10億8,442万円	4,855万円
介護老人福祉事業	2億5,120万円	2億5,120万円	
合計	93億8,933万円	93億2,011万円	6,922万円

### 平成19年度一時借入金の状況

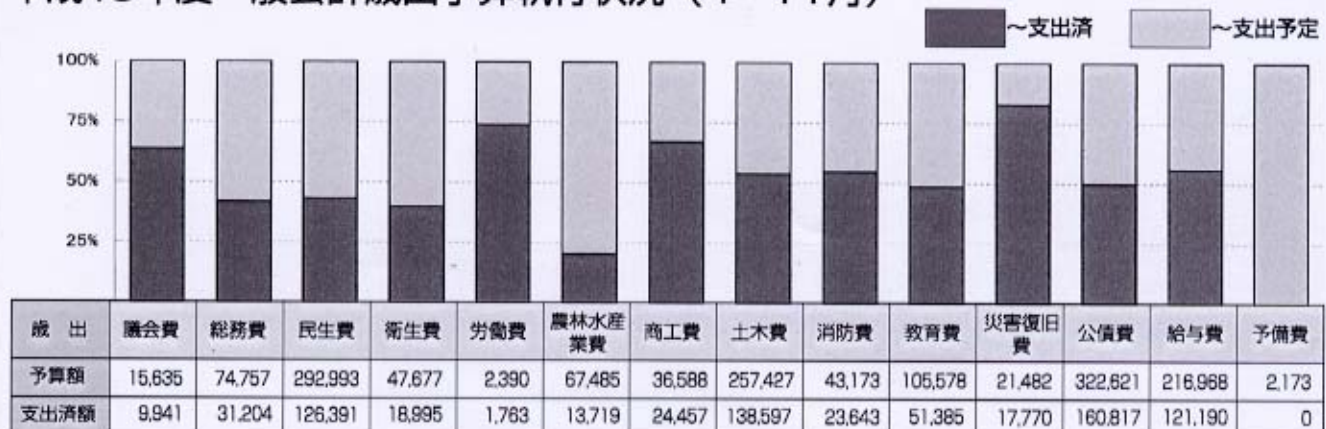
- 4月末日残高 13億円
- 5月中に償還を終え、それ以降の末日残高は無し。

\*インターネットの  
紋別市財政課のホームページ

<http://mombetsu.jp/syukai/zaisei/>

## 平成19年度一般会計歳出予算執行状況(4~11月)

(単位:万円)



平成18年度

# 水道事業の決算状況

長引く市内経済の低迷と給水人口の減少、更には節水意識の高まりにより使用水量は減少し、特に工業用水量が対前年度比で36,813m<sup>3</sup>(△7.4%)の減となり、全体でも対前年比で87,692m<sup>3</sup>(△2.9%)の減少となりましたが、6月から18%の料金改定を実施したことにより給水収益は対前年比4億9,477千円(8.9%)の増収となり、収益的収入全体では7億968万円の決算となりました。

一方、収益的支出全体では、7億4,846万円の決算となり、3,878万円の純損失で収支決算となりました。(消費税抜き)

## ＝ 1年間の給水実績 ＝

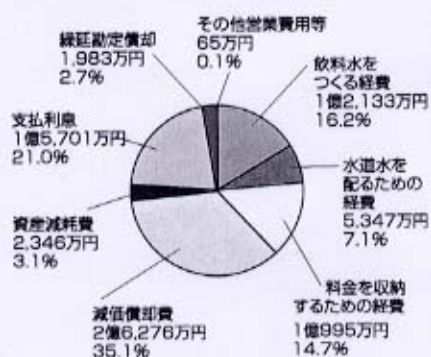
● 年間総配水量	3,696,244 m <sup>3</sup>
● 1日最大配水量	12,473 m <sup>3</sup>
● 1日平均配水量	10,127 m <sup>3</sup>
● 給水人口	23,824人
● 延べ給水件数	141,507件
● 普及率	91.73%
● 1 m <sup>3</sup> 当たりの供給単価	204.96円
● 1 m <sup>3</sup> 当たりの給水費用	253.69円



☎ 水道管理課庶務係 ☎ (24)2111 内線358番

## 経常的な事業活動に伴う収支 (消費税抜き)

### 経常的支出 7億4,846万円



### 経常収入の内容

● 給水収益は水道事業の根幹をなす収入であり、用途別の合計額で、6億454万円、経常収入の85.2%を占めています。

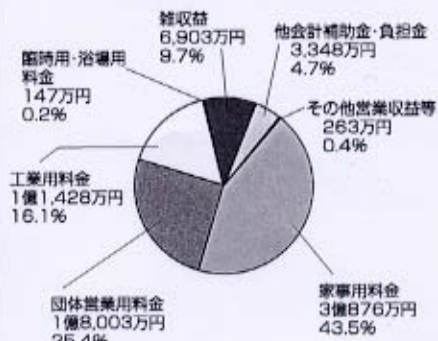
### 経常支出の内容

● 水道水がつくられてから、蛇口まで配られ、使用された量に基づき料金を納めて頂くまでに必要となる経費は、2億8,475万円となり、経常支出のおよそ38.0%を占めています。  
● 以外の経費は、固定資産の減価償却費のほか企業債の償還利息等があります。

### 経常的収支

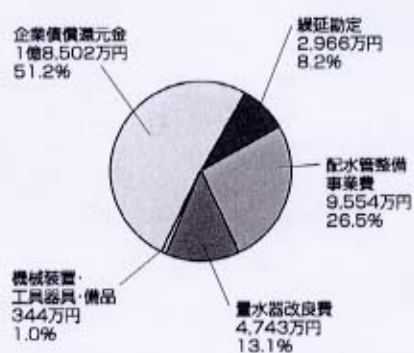
● 収入・支出差し引き額で、3,878万円の損益赤字が生じました。

### 経常的収入 7億968万円



## 投資的な事業活動に伴う収支 (消費税込み)

### 投資的支出 3億6,109万円



### 配水管整備事業

● 安定した給水を行うために、国からの借入金を財源に、7路線で1,427.7mの配水管路整備を実施しました。

### 量水器改良・整備経費

● 計量法に基づき、1,591個のメーター取替と81個のメーター新設を実施しました。

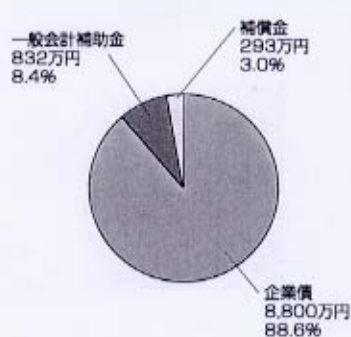
### 企業債償還元金

● 過去に発行した企業債の償還元金です。

### 投資的収支

● 収支の不足額 2億6,184万円は、経常的支出の内、減価償却費など現金支出を伴わない支出で補填しました。

### 投資的収入 9,925万円



## 資金の収支状況 (消費税込)

収入		支出	
給水収益	6億2,092万円	営業費用	2億8,855万円
その他の営業収益	262万円	営業外費用	1億5,699万円
営業外収益	1億592万円	建設改良費	1億1,979万円
前年度未収金	629万円	企業債償還金	1億8,502万円
企業債	8,800万円	貯蔵品購入費	2,689万円
前受金	79万円	前受金	108万円
預り金	4億5,774万円	預り金	4億5,810万円
前年度繰越金	1億9,806万円	未払金、消費税	2,398万円
一般会計補助金	1,125万円	繰延勘定	2,966万円
受託工事収益ほか	2万円	次年度繰越金	2億155万円
計	14億9,161万円	計	14億9,161万円

## 財政の状況 (平成19年3月31日現在)

固定資産	56億9,588万円	流動負債	1,356万円
流動資産	2億2,728万円	固定負債	676万円
繰延勘定	6,084万円	資本金	58億447万円
資産合計	59億8,400万円	(自己資本 6億6,298万円)	
		(借入資本 51億4,149万円)	
		剰余金	1億5,921万円
		(資本剰余金 3億9,721万円)	
		(利益剰余金△2億3,800万円)	
		負債資本合計	59億8,400万円